

今のうちにできることを

朝の冷え込みに、12月を感じるようになりました。植え替えた花は、寒さにも負けず、太陽の光を浴びて元気です。熊本県は、20日以上新型コロナウイルスによる感染者が出ていません。このまま出ないことを祈るばかりですが、オミクロンという名のまた新しい変異株が現れ、引き続き対策は講じていかなければなりません。しかしながら、感染が落ち着いている今のうちに学校教育活動もできることをやっておきたいと思っています。



そこで、これまで思い切っただけでできなかった「調理実習」にも、取り組むことにしました。半数ずつだったり、家庭実習だったり学校での実習にも制限せざるを得なかったのが、家庭科室



で見た光景が「ああ、こんな感じだったんだなあ・・・」と、私も思わずつぶやいてしまうほど新鮮でした。今週6年生が行いましたが、やっと満足できる実習が行えたとはほっとしていることでしょう。

休み時間の光景

「ばったんばったんばったん・・・」12月に入り、休み時間になると校長室にいる私の耳に聞こえてくる音です。実は、1年生が教室横のウッドデッキに出て、縄跳びの練習を始めるのです。当然、校長室横も格好の練習場ですから、休み時間ごとに頑張っています。「校長先生、あや跳びできるようになったよ。」「校長先生、見とって！こうさ跳びするけん。」日に日にうまくなっています。



また、廊下に出ると、図書室に駆けつける子たちもいます。子どもたちは、本が大好きです。人気の本を目指して借りに来ています。感染対策もばっちりとられていますので、安心して読むことができます。学習センター



としての役割も十分果たしています。図書司書のおかげで設営もばっちりです。気持ちのよい学習空間ができあがっており、授業でもフル活用です。

